阪急阪神東宝グループ

2026 年 11 月 27 日

HEX-26-015

◆ News Release ◆

各 位

株式会社阪急阪神エクスプレス

～インド拠点のロジスティクス事業強化～

2026 年 12 月　インド・バワルロジスティクスセンター開設

阪急阪神エクスプレス（本社：大阪市北区　代表取締役社長：吉本　敏）のインド法人である HANKYU HANSHIN EXPRESS INDIA PRIVATE LIMITED（本社：デリー）は、北インド・ハリヤナ州バワルにインド国内で 5 拠点目となる倉庫を新たに開設し、12 月 1 日より営業を開始します。

バワル地区は、デリー南部における日系製造業の集積地（マネサール、バワル、ニムラナ）の一つとして知られています。インド法人はデリー南部において、これまで、2017 年にニムラナ・バワル営業所を開設したほか、マネサールロジスティクスセンターで倉庫サービスを提供してきました。

このたび、バワルおよびニムラナ地区のお客様へより最適な倉庫サービスを提供するため、両地区に近いバワル地区に新倉庫を開設することとなりました。同倉庫は、多数の日系企業が進出しているバワル工業団地から約 5km の好立地に位置しています。

バワルロジスティクスセンターでは、二輪・四輪のオートモーティブ関連、空調関連企業を中心に、商品保管や在庫管理に加えて、出荷前検品、ラベル貼付、梱包・再梱包などの物流加工サービス、ジャストインタイム配送の提供を行います。また、倉庫内には温調管理施設を備えており、温度管理を必要とする商品の保管にも対応しています。

今後、お客様のニーズに応じて複数の倉庫を使い分けることで、より最適なソリューションを提案してまいります。また、引き続き旺盛な倉庫需要が見込まれることから、将来的には更なる増床を目指しています。

＜倉庫外観＞



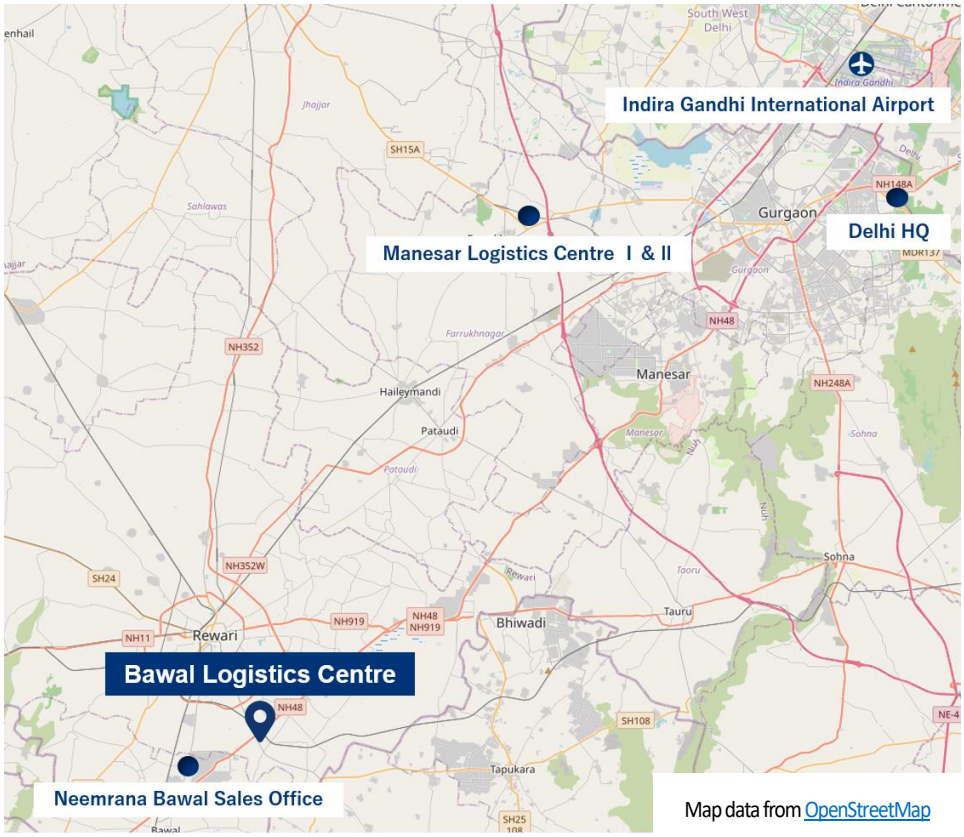
当社はグローバルに展開する高品質な国際輸送サービスとともに、お客様に最適なロジスティクスをプロデュースしています。今後も国内外における倉庫の施設や機能を拡充し、さらなるロジスティクス事業の拡大を目指してまいります。

以上

＜バワルロジスティクスセンター概要＞

名称	HANKYU HANSHIN EXPRESS INDIA PRIVATE LIMITED Bawal Logistics Centre
住所	Killa No.s 17/13, 14. 18/1. 19/1/1/7/ 17/2/1, Village Kasola, District, Rewari, Haryana 123401 India
倉庫面積	約 1,858 ㎡
業務内容	商品保管、在庫管理、物流加工(出荷前検品、ラベル貼付、梱包・再梱包)、JIT 納入
業務開始日	2026 年 12 月 1 日

＜拠点地図＞



―――――――――――――＜本件に関するお問い合わせ先＞―――――――――――――

株式会社阪急阪神エクスプレス　メディア統括室

〒105-0004　東京都港区新橋 3-3-9　TEL:03-6745-1450

www.hh-express.com/jp/